

共

本郷新+北海道の
現代アーティスト

振

なにかを尊び
なにかを恐れ
なにかをあこがれる気持ちが
人間のなかから
なくならないかぎり



佐藤壮馬《Entangled Dimensions (小萩)》2023 年

2024 6.15 SAT — 9.16 MON

会場 本郷新記念札幌彫刻美術館 本館

休館日 月曜日（ただし月曜祝日の場合開館し、火曜日休館）

開館時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

観覧料 一般600(500)円、高校・大学生400(300)円、中学生以下無料

※（ ）内は10名以上の団体料金 ※65歳以上の当日料金が500(団体400)円になります。年齢の分かるものをご呈示ください。

主催 本郷新記念札幌彫刻美術館（札幌市芸術文化財団）

助成 芸術文化振興基金、公益財団法人朝日新聞文化財団

後援 北海道、札幌市、札幌市教育委員会

本郷新記念札幌彫刻美術館
Hongō Shin Memorial Museum of Sculpture Sapporo



現在と過去の 垣根を超えた対話

本展では、彫刻家・本郷新（1905～80年）が生まれ育った北海道において、立体造形、写真、アニメーション、詩などさまざまな分野で活動している作家に依頼し、各自がセレクトした本郷新の作品や精神に関連した新作を展開してもらいます。

それは単に現代作家に宿っている本郷新からの影響を示すのではなく、現代作家が本郷新という過去の作家を現代的な視点で見つめ直す試みであり、現在と過去の垣根を超えた対話です。

彫刻の普遍的な美を語り、公共空間に裸体像を設置し、平和への想いを訴えた本郷に対する現代作家たちからの応答、そして双方の作品の響き合いをお楽しみください。



1.鈴木涼子《vespers(晩祷)》2024年／2.本郷新《手》1945年 佐藤雅英撮影／3.横須賀 令子《波と風のもののけたち》2023年／4.佐藤壮馬《Entangled Dimensions(小鈴)》2023年／5.井越有紀《体温》2021年 安田香澄(Amejika)撮影／6.沢沢 祥子《Where have you gone? Where will you go?》2023年 クスミエリカ撮影／7.山田航《さよならバグ・チルドレン》他
※作品写真は実際の作品と異なる場合がございます。

本郷新 ＋ 北海道の現代アーティスト

本郷 新（彫刻）

彫刻家。1905年札幌生まれ。高村光太郎に師事。ロダン、ブールデルなど西洋近代彫刻の影響を受けながら、写実を基盤とした造形を探究し、戦後日本の具象彫刻を牽引した。1960年代以降、公共空間のなかの芸術に対する社会的意識の高まりにともなうて、日本各地に数多くの彫刻を設置。1980年没。

井越 有紀（立体造形）

造形作家。1981年生まれ。2004年、武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科ファッションデザインコース卒業。人体や鳥などをモチーフとし、繊維素材に綿を詰めて縫い合わせた立体作品を制作している。

佐藤 壮馬（インスタレーション）

美術家。1985年生まれ。東京、ロンドンでの活動を経て、現在は札幌を拠点としている。モノやイメージ、個や社会に内在する自明ではないものや逃れられないものとの関係性について考察し、写真・映像・彫刻・インスタレーションなど様々なメディアに反映させる。2023年、第16回shiseido art egg賞（資生堂ギャラリー）。

鈴木 涼子（写真）

美術家。1970年生まれ。写真や映像をメディアとして、ジェンダーやセクシャリティーをテーマとした作品を発表している。第15回道銀芸術文化奨励賞、第21回東川特別賞。2007年、文化庁芸術家在外研修員としてドイツで研修。

山田 航（短歌）

歌人。1983年生まれ。2009年、第55回角川短歌賞、第27回現代短歌評論賞。2012年、『さよならバグ・チルドレン』刊行。同歌集で第27回北海道新聞短歌賞、第57回現代歌人協会賞。

横須賀 令子（アニメーション）

1960年生まれ。独学で墨絵によるアニメーションを制作。1994年、NHKプロチアニメ「なんじゃもんじゃおぼけ」が1996年ワールドアニメーションセレブレーション<ロサンゼルス>入賞。2023年、横須賀 令子アニメーション個展「波と風のもののけたち」（札幌文化芸術交流センター SCARTS）開催。

沢沢 祥子（インスタレーション）

美術家。1949年生まれ。1970年代より版画家として活動始める。1995年、アジア・カルチュラル・カウンシルの奨学金により、ニューヨークで研修。2014年、北海道文化奨励賞。2023年、個展「札幌美術展 沢沢 祥子 gathering- 集積する時間」（札幌芸術の森美術館）開催。同年、札幌芸術賞。

関連イベント

●アーティストトーク

①
日時 | 2024年6月15日(土) 11:00-12:00
出演 | 沢沢 祥子、鈴木 涼子、山田 航

②
日時 | 2024年7月15日(月・祝) 14:00-15:00
出演 | 井越有紀、横須賀 令子、佐藤 壮馬

場所 | 本館展示室

※予約不要。入場には観覧料がかかります。

●学芸員によるスライドトーク in サンクスデー（無料開放日）

共振展の出品作家情報と見どころをガイドします。

日時 | 2024年6月23日(日)
①10:15-10:45
②13:15-13:45
講師 | 梅村尚幸（本郷新記念札幌彫刻美術館学芸員）
場所 | 記念館1階

●札幌おしゃべり美術部

中学生・高校生向け鑑賞ワークショップ。
一日かけて作品鑑賞を楽しみ、語り合い、最後は自分で解説を書いて「おしゃべり美術部レター」を発行します。

日時 | 2024年8月4日(日) 10:00-17:00

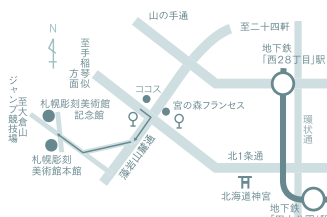
場所 | 本館、記念館

顧問 | 梅村尚幸（本郷新記念札幌彫刻美術館学芸員）

定員 | 12名（要予約、先着順）

※申込は6月23日(日)から。詳細は美術館ホームページをご覧ください。

本郷新記念札幌彫刻美術館 Hongo Shin Memorial Museum of Sculpture, Sapporo



〒064-0954 札幌市中央区宮の森4条12丁目

●公共交通機関をご利用の場合
地下鉄東西線「西28丁目」駅バスターミナル2番のりばから
山の手線循環西20乗車約5分「彫刻美術館入口」下車、徒歩約10分

●お車をご利用の場合
市内中心部より約15分、無料駐車場10台あり

お問い合わせ | 011-642-5709

美術館ウェブサイト | <http://www.hongoshin-smos.jp/>

Facebook | @inmyroomsapporochobi

X | @sapporochobi

